三綱行實圖

烈女ノ部 中下

伍

止

特別
ロ9
817
5

特
門
號 817
卷 5

京都帝國大學圖書

三經行實圖

烈女中

崔氏見射　淑英斷髮
魏氏斬指　李氏負骸
趙氏縊死　徐氏罵死
李氏縊獄　雍氏同死
貞婦清風　梁氏被殺
明秀具棺　義婦臥氷

三經行實畠

崔氏見射

隋ノ趙元楷ガ妻崔氏ハ礼節ヲ守リ慎
宇文化及ガむすめ十三ヒトシクイ地ヲ
ヒトシクスルニ長安ヲ
うんとすりゆきの陰口ヒトヒトヒト

ことやうのうたをわが書てせんとなん
崔氏がつくる我八十ばかりまで人のめを儀射人
書をり今日家屋門ひろびろとうづ
食いてそらをしたしくたんとゆふ
いろてゝめを人れ書とハうべきとめを人
人撰ありをり新氏やぶり紙ととゝて庫の中
ぐさ中ちぐてつまてこ生ゆをうんとゆり
崔氏めを人ゆをうしゆ厚とゆをうん事とれ
それていりりとおしていく今いちゝはまて
ちゝくゆをいくこぐし事わさりぶはじつあい
とゝき好人と言柴とやりもてい言れだ
めを人どゝ海ゝ れしく縄とゆゝをり
そのゝき崔氏打きわりてめを人のこゝ
うき氏うゝゆをうんたぐいゝくめをゝち
あのりふゝくいゝくれとゝをうんと思で
隠ゝをゝ氏りつくゝをうゝ水ゆぐゝをり
我分とゝ言ぐゝれ結ぐじとめゝをりれだ
めを人どゝをゝいてりてゝをうゝをゝとゝる
ちくはめを人あのりふ射ゝをうゝり

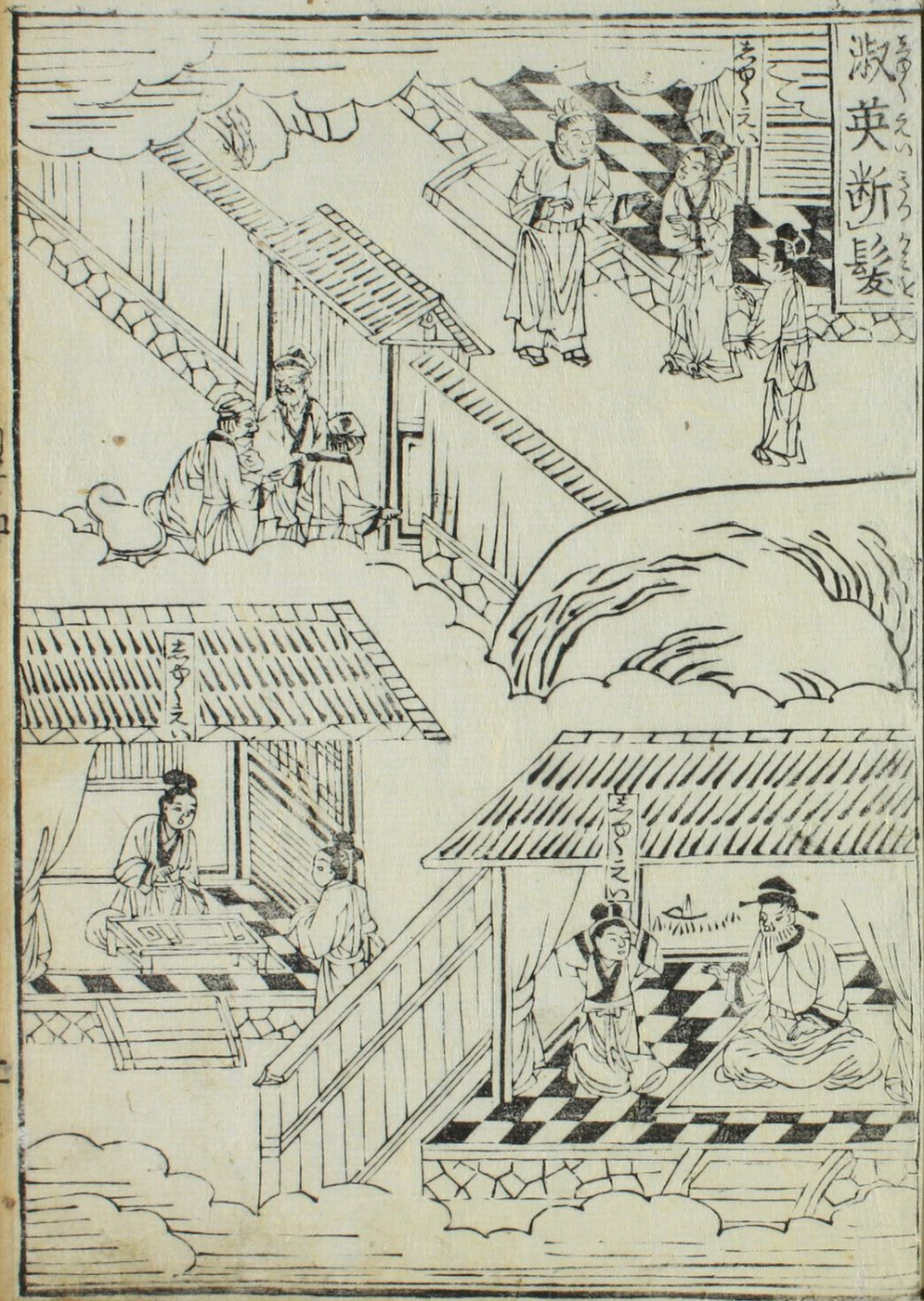
詩ハ口吻敷賊と避して作こうの蒼星
隆口途中ハ犬羊ハ遇。凌辱百端ハ中ル
所ハ凜々ハ三冬ハ秋霜と過
みつく権辞ハ力まへ〻ぐこさ〻ぐ
死を犯ると帰すうとし迫ず。
ものみ一株ハ移ぬきあり。年〻茅茨
人をして感〻ぬ

淑英斷髮

唐人の書陸書ゥ書襄氏い字をゞ淑英とそゆ
ける妻邑のゝ矩とゝ人れ女子あり初め
若彩のつゞゝ[illegible]ゝ書陸書い隋ノ帝れ弼ゆゝて
ゝゝゝゝ書陸書い隋ノ帝れ弼ゆゝて
冠裙ゝゝて晃南とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝり書の淑英ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ晃これゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

淑英ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ

[illegible]れて入るさい礼義いとよくはしら衣修衣の
[illegible]ものの[illegible]手[illegible]く坂づ[illegible]ふ[illegible]づ衣と
[illegible]けくはの[illegible]列女傳をよみくそ入
[illegible]の第義とおりつくこてびつ[illegible]嫁也ざふ
[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ



詩に曰嫁娶をもて初礼と為す。
車に坐せざる移天爲而に孤やもう寡く
訣す一言に敵切。他族に降せず死
をもつて守ることを
入口に鬢髪を抜て中に
それを皆書を納め。ゆるされて中に
入て鬢をまきまつすることあり。相如
すること初のごとく復娶て妻

魏氏斬指

魏の樊亮探り書魏氏は揚州の人なり
婦人なりとはいとあくつたなくふ
亮探はもとさやいはゆかざりしかども
書の魏氏を思ひて今をうらみて
はるくつとにくすとてどちは今あるを
ぎくりと魏氏をげきうのまして後くう
三くり魏氏をくりていくく亮のやさい
すでにわやう今いつふとまべきにを
をつくへてあるくをもはりしかずと亮探うつく
人の死するの部ひたりはくうこそぎ
みづうべきれしひ方ゆるとを云ひ人
てはまくをうくふ死する事あれ幸は
うづうつまぐ作をしくそぐてをを
家をもはづくあるん法をでも門をちえ
作んものを思ひうるる我とをうもは
死ん事をうづはあずとはは亮探
はくはりうて行るきは徐敬業と云
ものむうんの事あるうてをトすでるみづまうり

徐敬業すなわち兵陣を書魏氏とともにこの
まづ陣をつまく行つて日ころもれゆるびぬ行り
きつかうる筆れとこの事うれ
ゆ軍陣のつまもぐさみ行んを一曲
とさくぐしてて筆といづてひつめんとせり
魏氏こうつくいつくこのうみまの死やしこき
はまく死すべうもいとけなくさまの不敏
きふ死すべきこさふ死すていうこの筆
乃やうはあつくたる摩をかふんとすこれ
ゆうぶにうへい我分ちたこまり

この物こそうめけまとつくこのたとそ
たのゆびときりれとすはうのどもあつと
て魏氏とうへくたうんとするふ魏氏こさ
くうつてこて三ぶつうもれどとうまり
あ刃と魏氏がうびはあてぶくいつくわぶ
つう事十三ぶうしとうふ魏氏こさ
とたまはていつくいはぶぞうこうまと
宮ていうる大賊ありはゆうまとれん事ハ思へ
しぶ死するいぶいぶりゆうのハこうぶし
こうくうせこうるけうどはゆこまい

あるとき[illegible]り[illegible]
[illegible]の日合巹[illegible]て成り偕老の翔。良人化る
[illegible]てあんで相[illegible]ぐらさ風。佩も飾ず幸養
[illegible]術の語。吊[illegible]の[illegible]
みいくはけの不幸もあるく無中も隔る。
遍て筆をいくめく卵を背づ[illegible]んと欲
す。ゆびをきり[illegible]を抜てつかも宮り
[illegible]氏手[illegible]くも[illegible]指こす

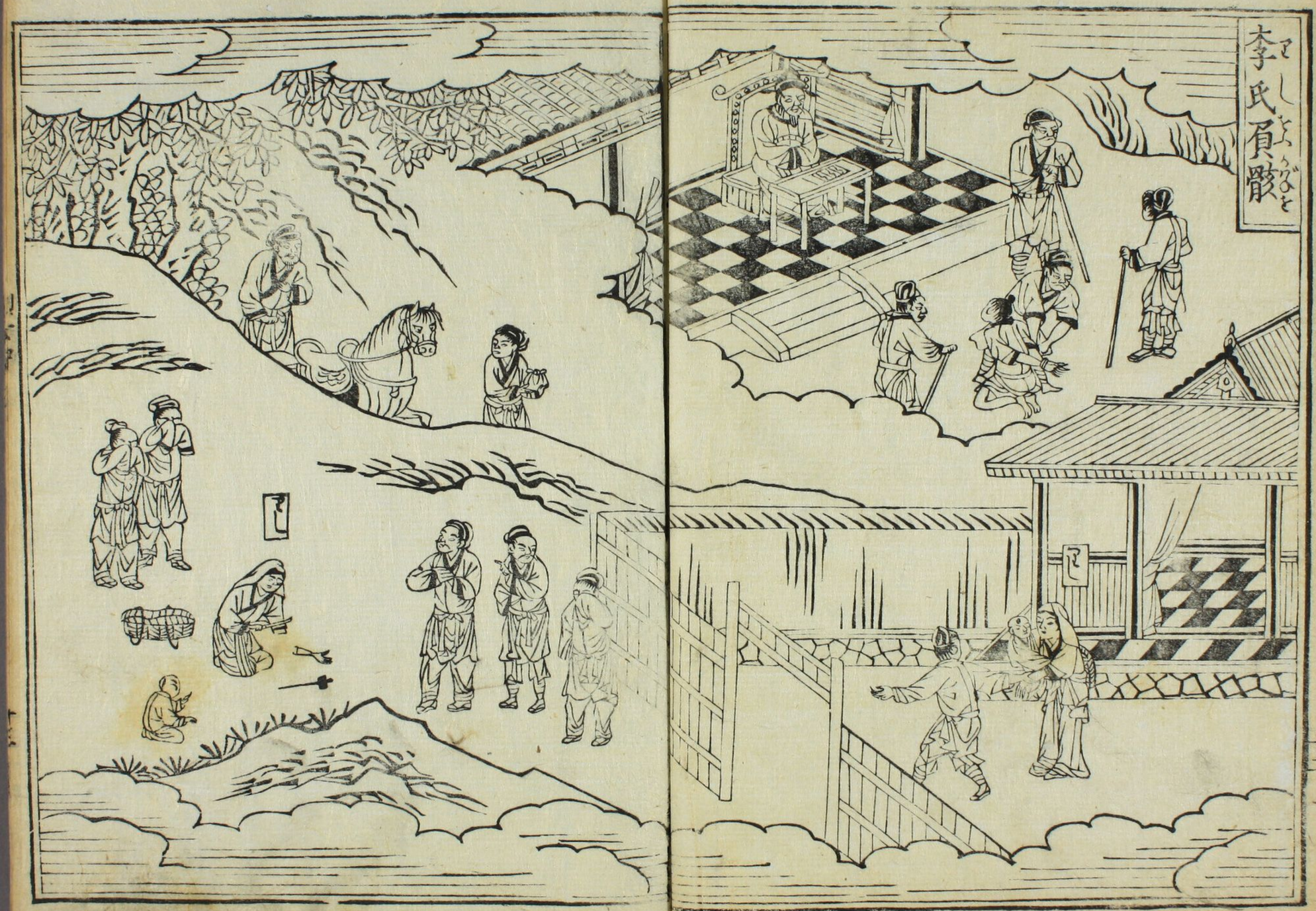
李氏貞厳

[illegible]人青砥北間は豪つよ
してすみ給ひ所號別の司て参澤しう
[illegible]凝やしいりあり
[illegible]豪りしうまづくて
一人りまありうまを所つまご伊もに書の
李氏まづまのりぐ[illegible]とうり影をつて
きりに[illegible]き買[illegible]ばけ[illegible]ろ
[illegible]くいけのきあと[illegible]て
[illegible]とうとろあるが
[illegible]れた[illegible]宿とうあるが
人とけうこうあはそのはかすけはやけ
いけのうあいけてそ呂一人うをつれ
うあうきあやく思ひそれだ宿とあるず
李氏りつくく天すぐは[illegible]みゆくそれうろ
うりいうもきべきさうに[illegible]一表
とあうそて経りまといくどもあうぐ年うを
まつまぐはまいりて戸とうぐんとやーと李
氏ちてあげさうる紙あうけうく李氏が
もとうく門りあ人引いぐす李氏まあうち

[illegible]氏あつぐて時ていく[illegible]の分[illegible]りの[illegible]事
[illegible]夫は別[illegible]くしりハこゝびへ[illegible]は[illegible]分と
[illegible]れば[illegible]しは[illegible]の[illegible]ぶこれとをぎ
[illegible]れ事[illegible]事[illegible]孫は[illegible]分[illegible]
て[illegible]れんこゝべ[illegible]て[illegible]とりて[illegible]左
[illegible]氏きりれ[illegible]りの風へ[illegible]れとりの[illegible]
[illegible]閑封の尹これ[illegible]く[illegible]やれ[illegible]の[illegible]
[illegible]くして[illegible]は[illegible]は則[illegible]とをりて[illegible]とつ
[illegible]氏とハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]刑と[illegible]

請[illegible]日[illegible]軍一日[illegible]風。幼[illegible]
[illegible]を[illegible]の郷。[illegible]合日[illegible]年
[illegible]。[illegible]して[illegible]風[illegible]
[illegible]弟と[illegible]は[illegible]の郷は[illegible]行[illegible]
[illegible]て[illegible]て[illegible]。その[illegible]閑
封の奏[illegible]て。恩[illegible]
[illegible]獻[illegible]

李氏負殿



趙氏逢學

家の趙氏は貝邪人なり王則とて子なり
もうんとかたりてたゞすでにみぐるんと趙
氏は人まこしてくるくるちぐひおりきまー
と王則ちをしびくく人とはつりてそびいまく
書よせんとつふ趙氏をげさうまつくこぐりふ
ゆくこいは我とうすもしゆぐ
しくあり国の大賊也書とはありまぐきぐと
めくりうれどくくちぐまされてうくし
ゆ氏ゆくてちくくもも趙氏いるれもいかの今は
いくもいぐくべくくぐ決ぐいせんとす王ぐくを
みのまあずいつりとくくは奪とめぐ
まぐやとあひて王則ぐあくんきつくる
いくるぐず我と書くもんとゆひ我ぐ我も
ちくれくこぐひゆく結ぐん吉見と元
らくもんあくんとついやりまれだ王則
ちまくしびく趙氏と家ちくくめと
家くんぐくまつくつ趙氏くぐいまべき
まくもくあんずあくくも趙氏書

ゆゑれて打ちゆくうあるへハ手ぎびしきう
事ゆゑバ趙氏ゞ家人と引ゝりをハ[illegible]
ゝうすべしとやうゝうりゞ家人ハ祝言ハ
ゝとゞ[illegible]ゆゝ心事と打それて者ゝ屋ゝ
書氏すゝくきゝさゆゝゝきゝゝ趙
氏もみちすゞゆゝゝゝいてはゞゝけゝし
家人ゞゝゝ物ゝさ事と又せんも不敏さ
ゝ只物ゝゝゝゝて打ゝゝゝゝゝゝ行
ゞさゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
趙氏代伴[illegible]

[illegible]

すかりちちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝゝゝゝ勢とりゝゝ趙氏ともいゝぞ
ゝゝゝゝ趙氏家人ゝゝゝゝゝゝて
やゝ今ハこゝ世ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゞゞゞゞれ大賊のゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝて物ゝゝせんとゝゝゝゝゝゝゝゝ
きゝゝゞ家人ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ物ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

数多へ、とつひ、ろ絃やすを作ぐ、かて風と
ゝゝふ學ゆけてゆくこと日乃言ぐ、ろ國の掾
かつ、り也篇とあ、ぐくゆをさ、めぐきれだ
趙氏ハ學乃ゆる三ぐ、ろ猶まく死ゝ、り三ゝり
あ、れ也ゝ、ゝ尤地尚書也四負が帝張寅
こ乃ゝ手とゆ、ろ、ゝびであ、れとを、りて活
とけ、りてゝ、ろい仕ゝ、りき
清西義食陰米禍りへの嬰、ゝ、ろ賊婚
禮と修め、く猶弟りて迎乃學ゆのぐり注く
家へ喜訣す。活厚影乃ぐ、ゝあ、ば尚ゝ、
も申じ

みつ、く死るけ、くこと陰容あ、ハ世乃孫と
すり不。此乃ゝ、ろ三義ゆ、ゝ、ろ行をし。
言ゝ、ゝ、ゝ、れ殊名分乃崇、ゝ、ゝと香名
とゝ、めゆ、く竹簡を活す

趙氏縊輿

徐氏罵死

宋の徐氏は和州の岡中とて人の娘にて
おなじ郡の張御と云人に妻とされり建炎
之年に金の軍無方繁とて
維揚とて
ゆきて宋の官軍ちりぬとて
きけりとて
もちゆるべきとて金の軍無るとて
家ゝにてとりて把とうばひとり人に

たりけんと徐氏ちりぬるつりて伯父
おなじくうけるを
とをうばうけんと
勢ゆきて禁中にせちんとす
ゆるづきはいはくして
人の数をみつめて
みを家ゝをとうけんとす
それ天下ちりぬ
国家ゝぬけて
我ゝしらはの
とんとほうり
とて
剣とりて

前後きりすれども
ありがたしとも
いはんかたなけれども
なほ命つきて
ものもいはんとすれども
やうやう我とこころをしづめ
ものごとをかたりつくして
徐氏をとりこうて
はかりごとをめぐらす
侍りき

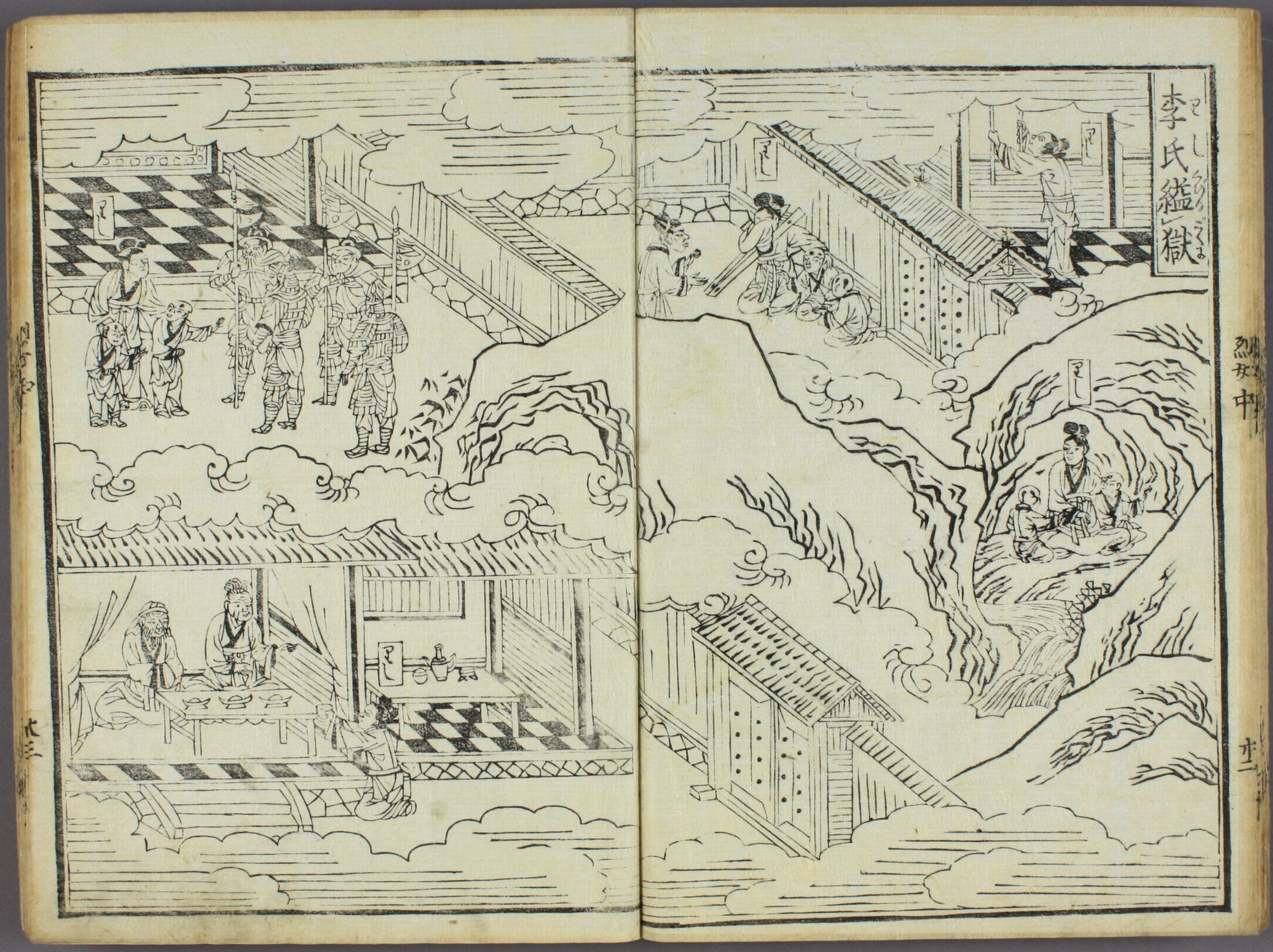
ときに官軍は奔潰よりつゝ相屠る。
徐氏参見として義物へらる。
ゆゑに
激行をまつくすべしと
義久今
みいくさの雲の辺に
辞至恍
卒ひとりのつゝ。今はいとりて江の鳴
咽と呼ぶ。多少は行人痛境ふ

李氏縊獄

宋乃翁防得が妻李氏ハ安仁ところの人なりしが智恵ありて学問ふかく殊に書物をよくせり防得が妻となりてより婦道をまもりて舅姑に孝養をつくしけれども家富のまづしきゆへ賓客と往来礼義あつく家の主人にまさりて元うつるの主人とぞ云ふ防得

つりの式をもちゐて安仁の城まもりてをと
風元乃弟ごと大勢とともくせかけまつぐ行く
城ハ出ちまり防得ハすまりち城とゆちて
間ちつ国まもげつりてちばちしかちとひ
きやくふつり元乃大将事ちつ後
ま四人事ちやうハ河防得ハきこゆるちちれ
ほるものり人きこちちぐ事
出今こちの式りみづて行ちとし
ありみこちべつりもれとあつくもちんとやれ
ちちべきこのちぎりかちく防得が
ゆくほちとちぐ家人ちちれちちく
防ぐかちんやり防得が妻事氏ハ貴澤
山ちちゆくまこ人れちれつまくくれ
つ事の事式りて食てやうくま命
とつぎり至元十二年ハ元の弟元
こ式やつくくしまりて元の弟元
ていくく河防得が妻事氏ハ弟〇入れ
三族乃刑ハ行ちのハ
くくく我家とちくく人をちづくんやちく
ちちこ人れまの式つまちて山中より行ちり明年

處廉と云ふ人の妻李氏
と云て いつくしみ深き人の
妻と成ばゆゑ 人の
くるしみを 李氏こゝ思ふ 二人の子 髮
くるしみを 法ゆゑ 貴人どもみないつく
しひ人の妻 ものゝ妻と
なんや 物を 法 李氏 ゝ 我 き
ゝ 二 氏 ゝ 二人 ゝ
ゝ 法 ゝ 新 ゝ 命 ゝ ゝ
ゝ ゝ ゝ


李氏縊獄

雍氏同死

宋朔海こうんとすりけえ乃軍兵
すでに池列とせむ通列趙昂發こ氏城
せうて城と海りうを乃せめうけあうもと
ゆ一とうでも大勢城中のつうれあも
くうきかひきるあ
ぎうてやうをくきかひつうきずとうつ
りもをりうをけまで趙昂發ハうるいじ
ゆもしくうの妻雍氏うかうていうく城
すでふをんうとすうるうけみうるうえ運をてすきうれ
ヒ元のうりうう死もうく宋朔氏ずず
ゆ池ハもうやうすこ乃城をれそぐ
つうるんくうとうを氏うもく令氏すうり
ずみでヒ雍氏こうつく伝うく趙昂發い
こ池列乃令下官うづうハみうれ
令婦うり元ハ海こふ忠信うかくも
乃氏うすうを氏令をうつく母すもくりんと
ヒ元のうりうづうみ貞節の令婦ヒ
して大夫の妻うり元氏をれて伝づうふ

紛ていろかん厚とうん妻ものがくけ分
をもて美昇の部屋でもあるひ行ぐんと
趙昇発ぐうくこれ城中此行くその事
いのちはすつるものさはいかんの命へこれ
うちはずにとくく杉ちうへと雍氏是
をうくいくくられ城ばいまげ主ものさ行を
て死すべしくすぐるものぐいせんとす趙昇
発うしくたくそぐめてうもくをいのちる
ものへちうもく美昇でおるひゆさ行ぐんと
明銀ものがりうり地とりあ
とぐ後うちあるへうおいて後ぬ氏ぐて
あるは後ぐれく城と杉ちその後は趙昇
数うぐ第氏うて机ものへるこその結
句とうていくく
元八数くは丑ぐす。城あくぐ後ぐす。夫婦
死をものぐくし。節義双とす
とおうはうはううう夫婦ははは衣像と
ううくおちて陵宏堂は言ありあえく
をうぐ死せり城ものゆり二人れつものり

おなじ命にてしかし山本は今までも武藤殿
にて歌とうたひてさけのまるゝはしをたくまま
婦人方○大哭してつくまていた大家の人
も死をくい大家の墨をうりはらくうこれ
けとつくん清溪一泓人をとゝてみるもの
てらちぶよせう城廣て廣元此將軍他親義
相こ人をたゝとうくはしくしてあげきて
棺をうをあへあつくたゝりその墳をうつ事
弼んぶうして去侍りぬ
ちなみに元亨年間に城を陷いる。
主位ふ明死せるを風。今ト婦一今夏同日
ゐ繰る。地ちるあひきてぶられ結結
みつく池列人侍趙と書の雍之。易義
双とる礫礫はれり。大家の人大家
人墨とする。住宮古書のとぶく住宮

龔氏同死

貞婦清風

王貞婦が夫い陳湯と共に
祐二神んめ元の軍に出すでる漸来と云
ふ人なりし陸
ふ人なりしを貞婦うまその釈
夫婦こ為くへらまてくころれこり元の
大侍うの王貞婦が如くちりてしこ
ゆとうてこまにそでめくとの為ぐ業せん
ふまてこたまのうきはびくまでいせんと寸
人くたてそめく死する事あさりず寄タ
ハ仕ぎりれめでぐこ書とせう陸てまも
らめ至ハみはりのどもは海ゆこ
ていが人こふこづくと妻と
せんとまひ好りでるる四りん事とうの人
ちくをこづくが来うと姑のが夫ぐを
死し行まどられこふ裏せずして
こうべみまにまくとう事これたこるそ
ひくあるずやたこうはくるの人ぐん
人とりん祐ぐりくそれと一年ノ服とはと
り発そノ侵いりも作ゆ来ぐりんと云侍軍
こにやくゆうこう郷まも私人とてくく

[illegible]む明年[illegible]元の岳軍と
[illegible]貞婦と云ふ小人[illegible]本国より[illegible]青
楓嶺と云山[illegible]
[illegible]をくくるのどもかをとりて[illegible]
貞婦いろ[illegible]指とりひきり血[illegible]いぐして石の
[illegible]を書つも[illegible]もむひく慟哭きくこづ
[illegible]書[illegible]人くくれとろきてそ
[illegible]ずはすれるよりこを握
[illegible]の書つもし血[illegible]
[illegible]元の至治年中[illegible]
[illegible]貞婦と[illegible]
[illegible]守青楓嶺の[illegible]
[illegible]人くて清風岳
[illegible]

[illegible]
[illegible]元岳軍[illegible]入。舅姑[illegible]婚軍
[illegible]不幸[illegible]元岳軍[illegible]入。舅姑[illegible]婚軍
中[illegible]隠[illegible]。三[illegible]義なりと[illegible]
きとと[illegible]。百対陽言服と[illegible]清
[illegible]口行青楓[illegible]険[illegible]旦[illegible]。血
書[illegible]石[illegible]天[illegible]。一従慟哭崖[illegible]投じて死
せり。岳[illegible]の清風[illegible]百合峡

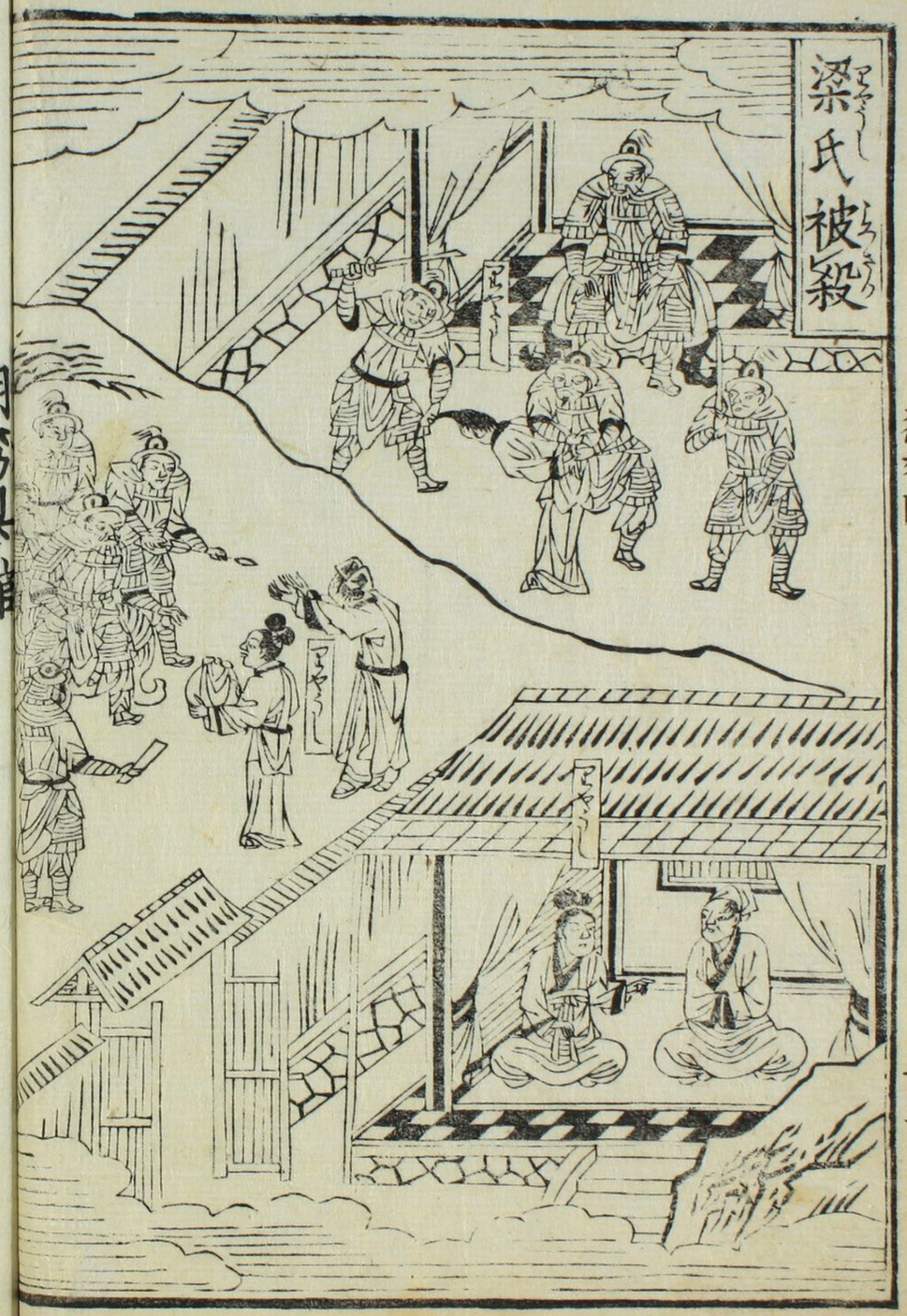
貞婦清風

梁氏被殺

宋末の氏の妻梁氏は陳川と云ふ所の人なり
夫の家は貧しくして行くべき方なしと元の
軍兵のせめ来りしかば夫婦共に逃げ出
でんとせしに元の軍の人梁氏を見て夫婦を殺
して女房とせんとて夫婦共に殺されぬ
元の軍の人梁氏を見て夫婦を殺して女房

そびきりて罵りていろく斫頭奴八大賊なる
我と夫とをくちごとくちごとくちごとくちごとく
手ありいでゝ脇ふてゝ方氏をかばひ
はんやをひ方氏をぐくとをぐくとをぐくとをぐ
をくをぐ乃つるのちまいるくはせる果民
とをくをくをく
詩曰果民平帰て数月あり。元八
つるのをくぐをくをくすぐをし。
をぐをくをるいをぐ偽を生計を遠ばんとを。
ををを飛す養を小弱を繕をん

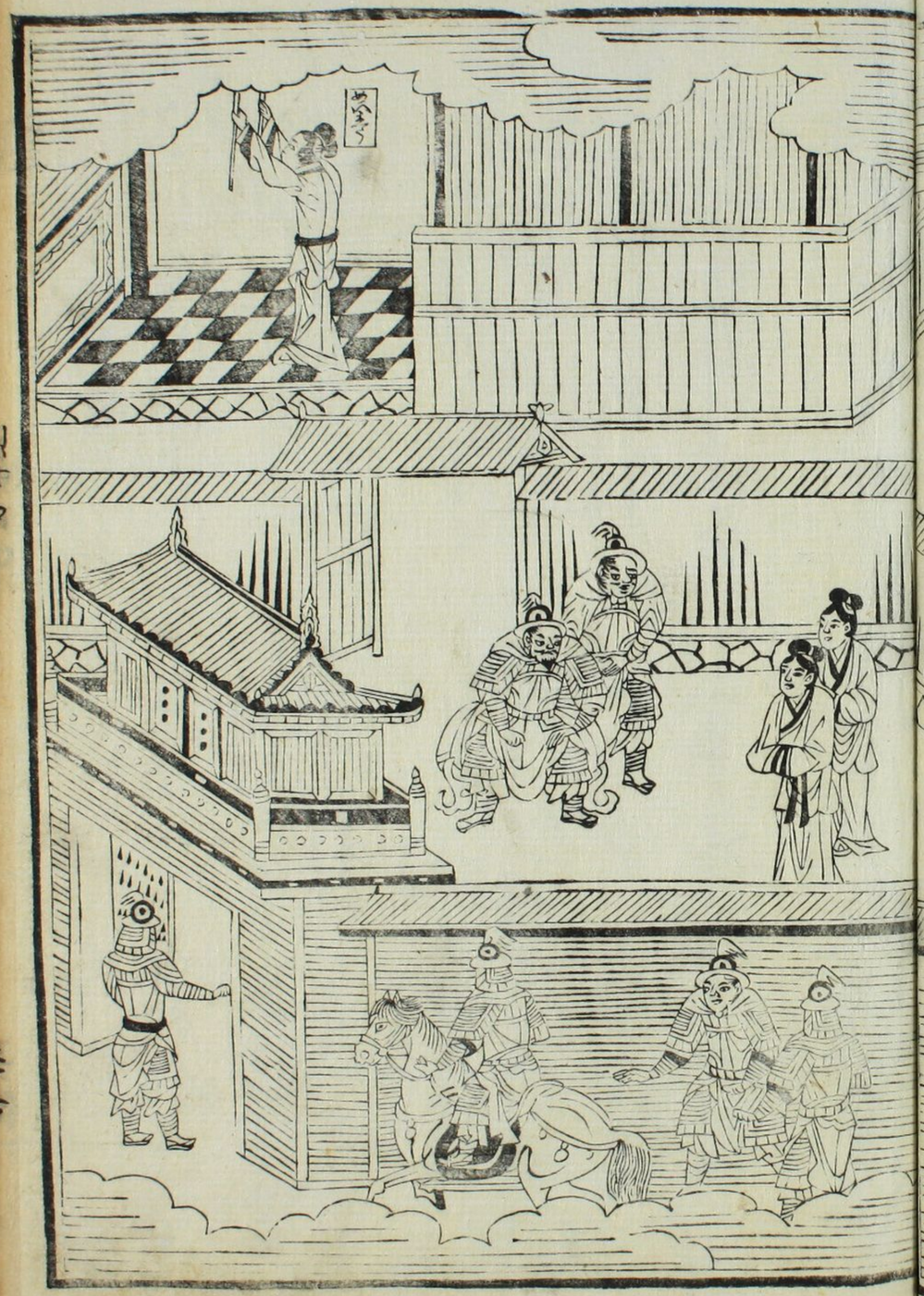
又いをく家宝をを小虜八をを捨をる。
猿雉りをれ活をい。生活をれ帯を
ををすをれをを犯をん。良彦をる自
保をいをふいる風

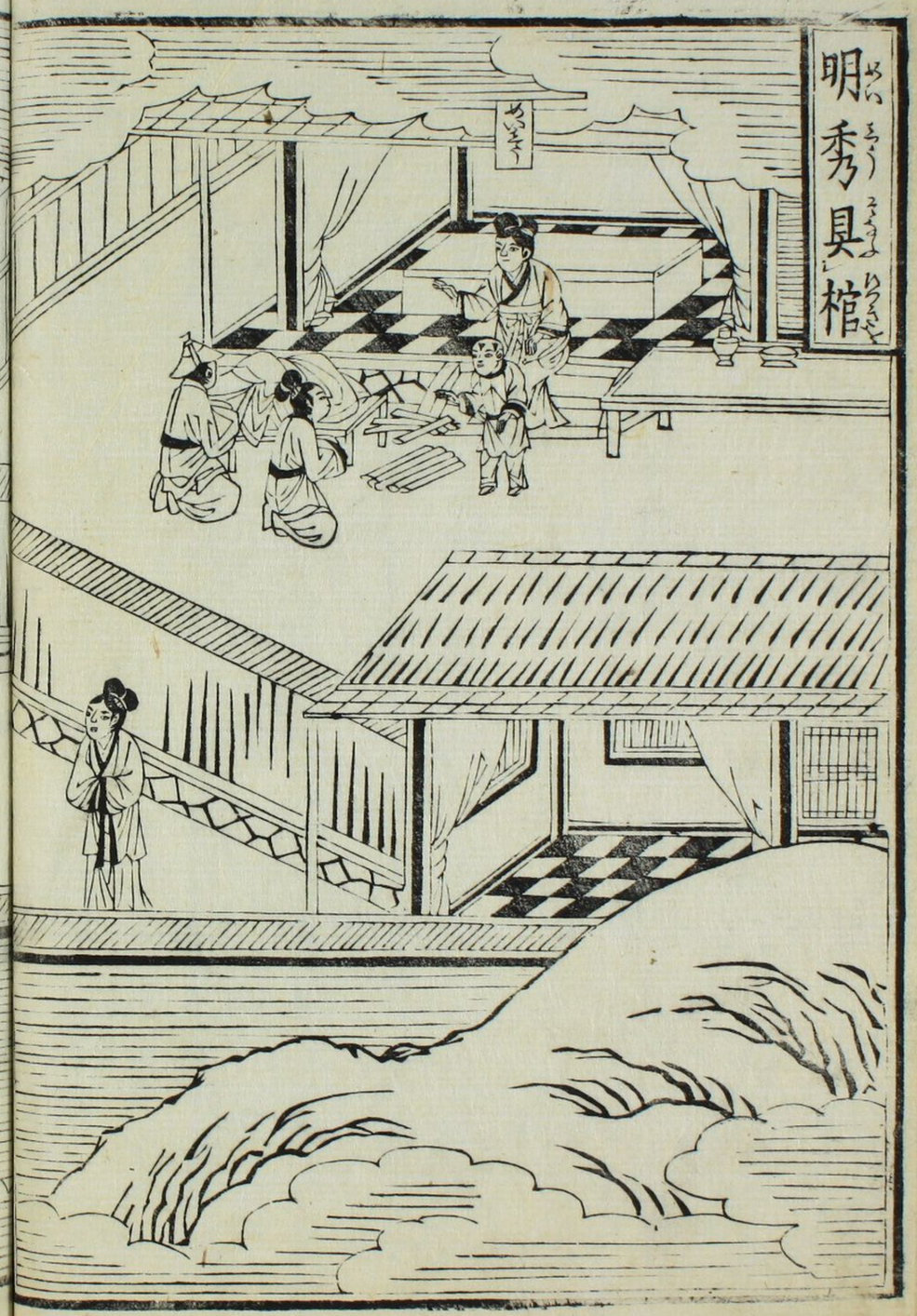


明秀具棺

金のしき蒲察氏ハ完顏
長楽と云人此妻と
帝婦淫ものしき完顏長楽と大將軍
のされしこ見たりてあまりのつるを此
とをうべてみうごの婦ともけうとうう
うれうしきを完顏長楽ある人此妻を
ひへて妻とせりしかしうごと婦人のもの
ご事ありてきよう人妻一人のもの
を後入きて明秀
ともへて妻とせり明秀

まゝ子にうゝしこそゞにて其年その年ごの
ゝゝゝ




明秀具棺

義婦臥氷

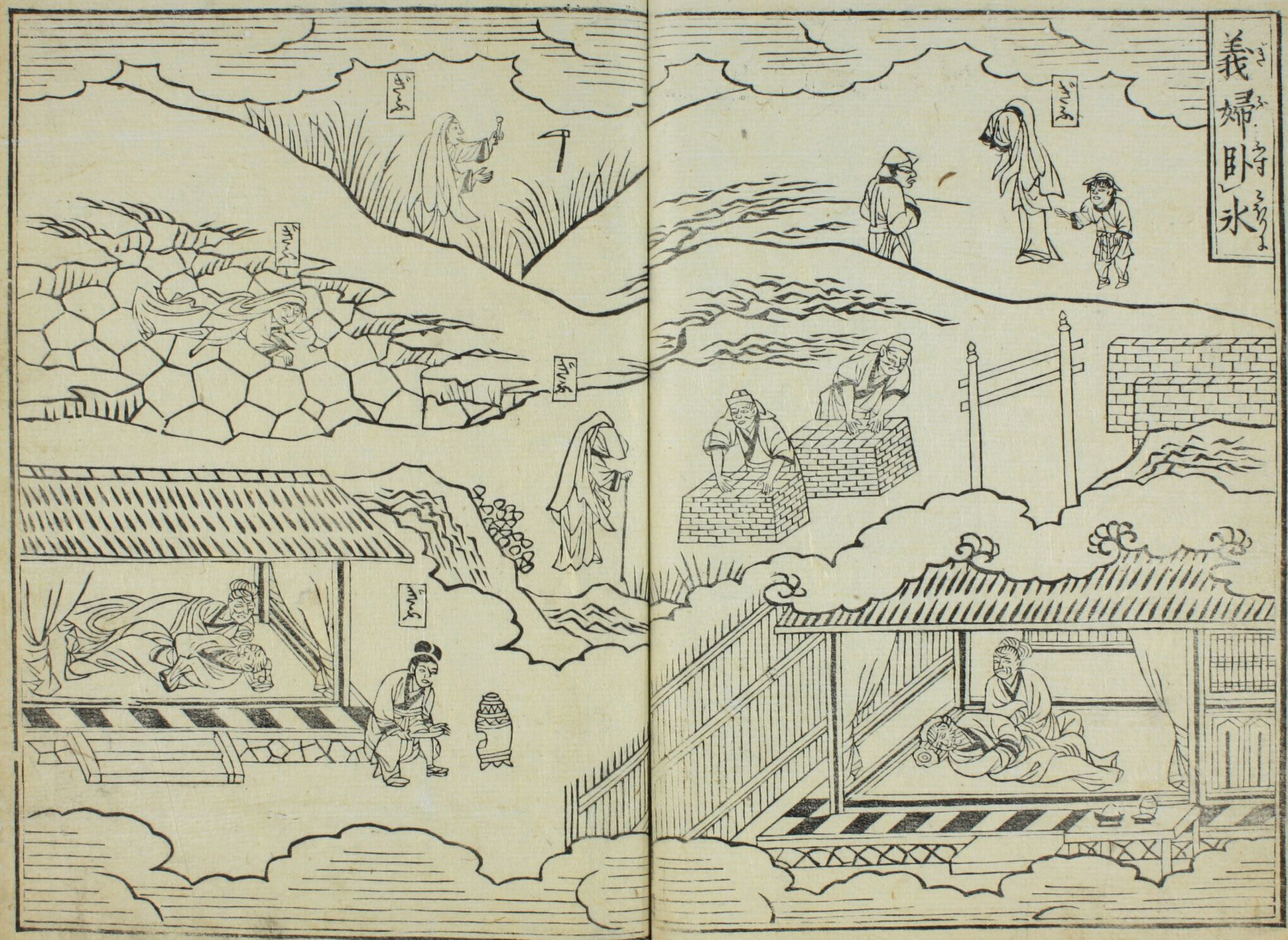
元の張義婦は浙西の人なり
里人李伍と共に書を学び
伍の父李翠と共に福寧に
行くに福寧にて分袂
張義婦一節を守り
て夫の家を守り姑を
孝養せり義婦に
弟八人あり義婦
に肱の内に
抱かれて
成人せり
ある時
義婦
に
武
[illegible]
[illegible]
大
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]をうりてはいつるこゝろざし今きてもやんごと
なくこゝろざしのりとあてゝのまゝにまゝこゝろん
とおもひいらぬ物なりいかゝ[illegible]
をもてこゝろをもてこゝろつかひをもつくしてこゝろ
ゆのうつりかはりてちからのくるしきこゝろわづ
[illegible]はしりとあらづいとゝ童[illegible]
えくさぐえたく[illegible]とゝ知やどこゝろく
ゆのうつりかはりすでにまこゝろのあらはれぬる
[illegible]ふ花[illegible]事[illegible]義婦夫
[illegible]ひとゝ[illegible]

[illegible]ゆうつりかはりこゝろ福寧[illegible]
うれしもさかり野[illegible]れ[illegible]
より村をこゝろあらうりやうくにて[illegible]
福寧[illegible]
てまの[illegible]
年[illegible]
制[illegible]
[illegible]
[illegible]張義婦[illegible]
[illegible]
はとゝろ墨[illegible]通じ[illegible]一人乃童[illegible]

[illegible]物をうるいくにげを書置て死しかるえ杭
[illegible]はうはうにて書すうる風書を
[illegible]ゆうやくに骨一奥をうりえうり書その
[illegible]をとりて祝して[illegible]
我ぐちをつまんとき意のごとふきえうく祝ぐる
と膠のごとくかんとつくすうてえて
[illegible]つすたうて[illegible]第のごと書そう
[illegible]ひく[illegible]ゆりちをいあはく
[illegible]をかりて[illegible]
[illegible]書の[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]


義婦守臥氷

三經行實圖

烈女下

童氏皮面
朱氏懼辱
窮女貞節
崔氏奮罵
林氏斷足
金氏同定

王氏經死
翠哥就烹
彌妻啖草
烈婦入江
金氏撲虎

成九終

三經行實圖

童氏皮面

元の俞士剛が妻童氏は嚴州の人なり
その志操いつけく性潔くして
人より童氏をむかへいれ佳耦
あらんを願れども童氏ひたすらみずから
志操いつくしみて至正十三年に元
朔大なる亂れて威平と云ふ賊すでに
賊人あらはれ出たりしかるのち人の
家財をうばひとりて物をとらざるなし俞士剛

が家はこぶれつる童氏こづゝ我分とよつく姑
とゆうひくゝゆやぐはは りのどと童氏とゝゝへ
て家づくんとす童氏ちはりてはゝはこぶ
ゝずつゝものどもこは氏いつゝく童氏う左の
ゝゝゆゝちゆとすはは まゝ夢ゝて考こづい
ずゝ右ゝゝゝゆゝきゝゆとゝゝゝゝゝれども
きゝゝもゝゝゝずゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ども童氏とゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝとゝゝゝすゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ

みいくく元兵衛を門樽に入て殺と
罵言成悪言すると肺肝より出て新
臂のとくはけす屈やず。毎日きくの
て髪冠と衛しむ

王氏經死

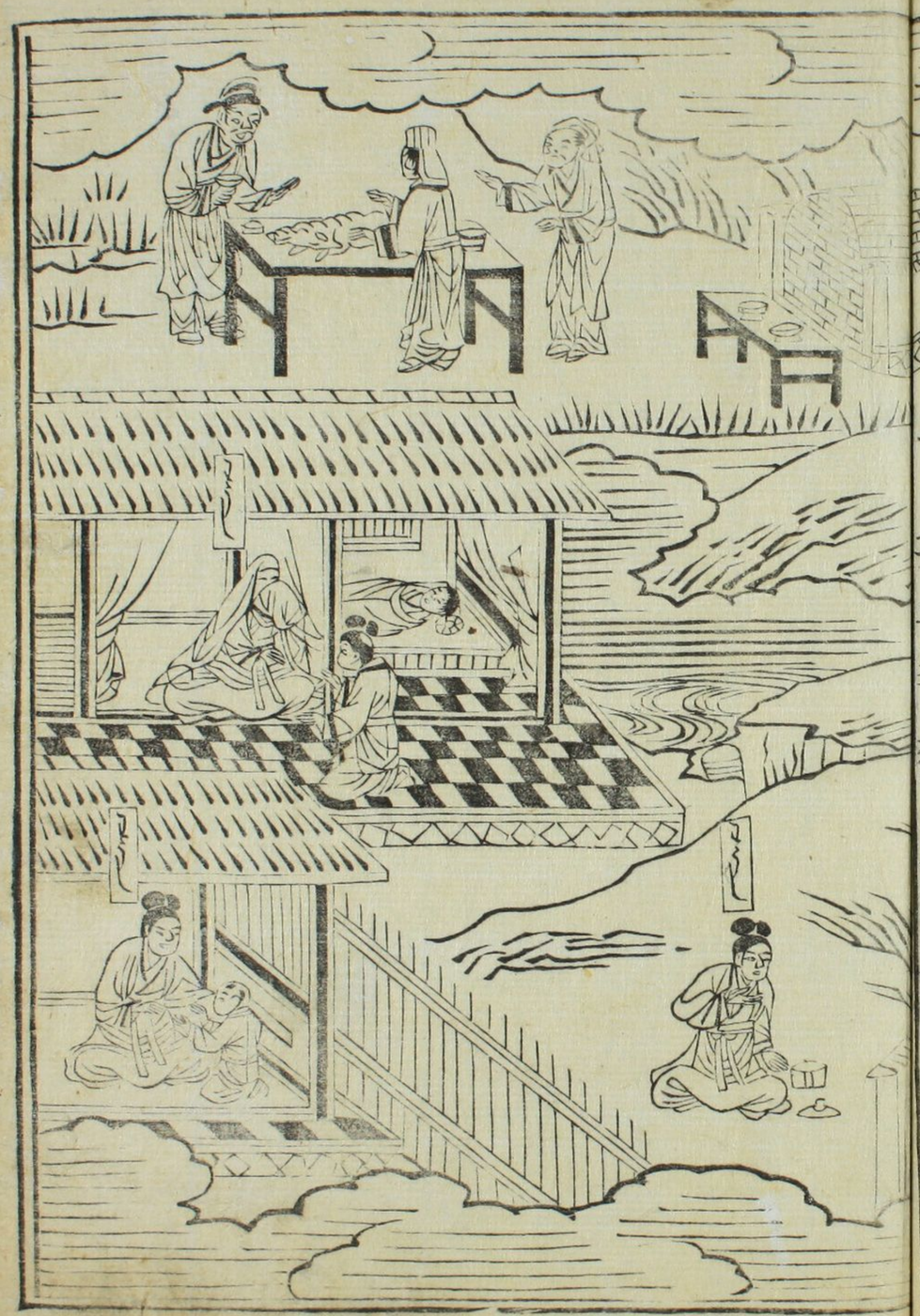
元乃思云云が妻王氏は大郎乃人なり思云云
云たりしさうづいはうて今をうざとり
妻の王氏まうりふ云うりてつくられ日
ぶうはゆの半つり病人は妻氏あのくそ乃
あうづひうぶれりのハ命下ひうとうて妻も
妻とうてうぶはは味うひきうくあうー
王氏いうくうう人うのうてゆうはうで
やうと思いてうすうと都うはうくいはつうは
うづうとうづうりをいうくうさうはは思云云妻

思ううていうく祇ゆうひきうあうく祇うー
命うまうのうたうりこうはうりはうされはは高の
ゆうて高ぶは一人乃ゆはうりくしてうぶはり
人うハうすうはうはうはうりうぶううず百年
の後祇うはくうううはうれをうぶうみくはる
すぶは人うのんうはうの人の妻
ううは人うのうん人の妻氏後をうぶてうううく
いうくうれはううはいうはうはいうぶうあうはうを
ううはうはうはうはうはうはうはうはうはうぶ
れはうはうはうはは死はうはうはうはうはは

ごぜ　ものくたさるとはゆるハゆるさせうの
ゑ　ゆるさるまゝはゆるす　ゆるしとバゆるさく思ひ
せとうくてかぐるく思ひ　公　けれ　ゆるす方ゆる
ゆるりそり　雪の　三氏　墓　れ　ほりゆるく　屋
ゆるせ　法ちもび　前ゆ　掃　と　ゆるれだ　ゆる
ゆるとうてぐき　打　ゆるそ　ちゆ　ゆるハぐれ
ゆるこゆるぐて　ゆるれ　食　ゆるゆ　ゆる
ゆるとゆるく　ゆるぐ　ゆるゆ　ゆる
ゆるゆるゆる　ゆるゆ　ゆる　ゆる
ゆるゆるゆる　ゆるゆ　ゆる　ゆる

そぐそうくしむ　年　ゆるぐ　色　年　ゆるゆる
おやゆいゆふゆむ　ゆるゆ　ゆる　三氏　ゆる
て　ゆる　ゆるゆ　ゆる　今　ゆる　ゆや　ゆむ　ゆる
ゆれだ　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる
ゆんゆ　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる
ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる
ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる
ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる
ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる
ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる　ゆる

めもり喪すでに終る日にいたりて釈奠
執ほうあつまりて酒とそなへ思ひ出づ
墳墓にまうこと能はざりし祭祀
をすでに事終りて後人々酒とのみ
すすめ氏うちたるまゝはせて
くびまくむすび故ゝ風とぞ
はしめいく病勢纏綿してすぐる歟
日向とす。喪祠く去る因ふ飲
り出仏のべ歳とゝめて他国良へ
ゝ紙屋ゝ所の死
遺孤まゝ逝也己亭哉。喪を終くすのい
ちづゝ経死す。釈舊国至と行ある
由の

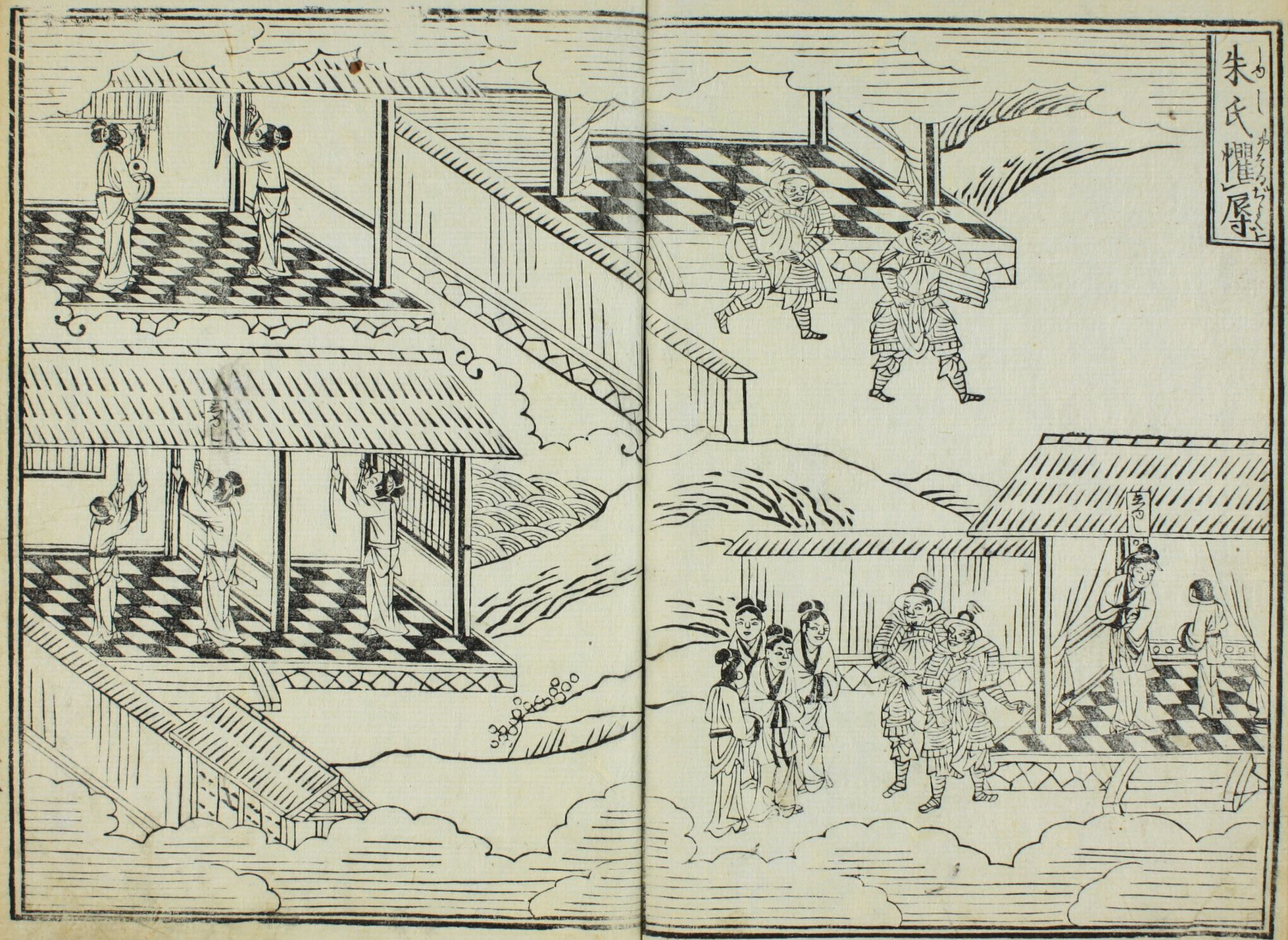


王氏經死

朱氏懼厚

元の英仲起ゲ妻朱氏ハ杭州の人なり至
正十六年ノ張士誠ト杭州ヲ
ツクル氏ハ一国中ヲトラミヅ
ヲノク朱氏ガ家ヲ
ゆゑ氏ハ賊ヲ
ヲソレテ
ヲ
ヲ
ヲ

家の内のりいづやうにてらんとうの
ものしくさんもく黄泉の客はすきんとてく
しかも陳妻と母りろまはんびきく死しきり
黄仲起ら高は馮氏とこあづ〳〵そんこて弱く
いくくれ〳〵命いくこて幼のあるう摩とうんとこ
てこうくくくびきくく死ぬそはつきく仲起ら
弟の業業中いもれるとこいづきこの乳母湯
氏みるれるぐくくびは死くりロくれはいくて
兵ぐもあるさ業りて家の内とを稼ぐあゆう
ゆ賀一人も稼ぐ家はくくく


朱氏懼厚

翠哥就烹

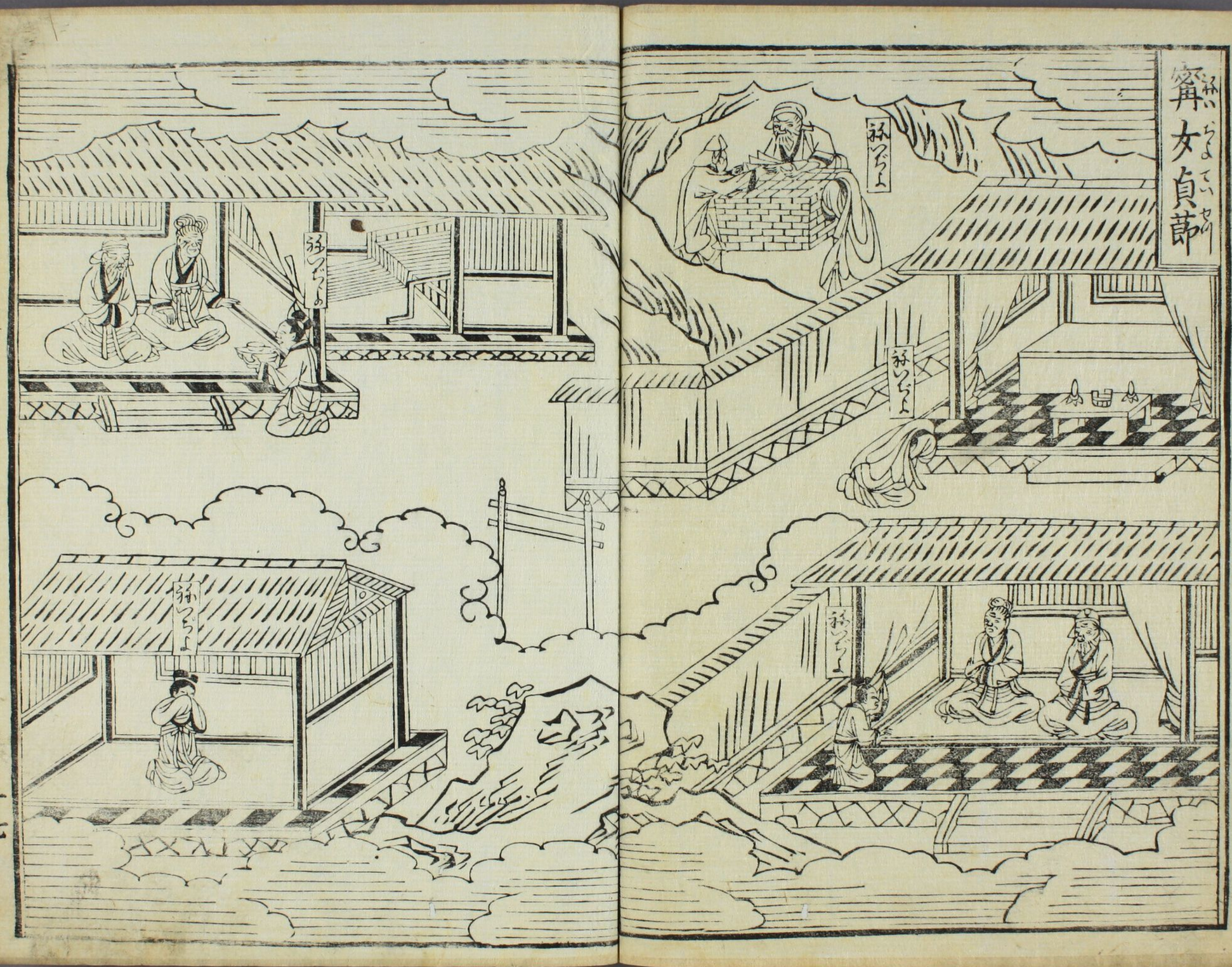
元乃李仲義う妻刘氏之代翠哥うつ
唐山の人なり至正二年福建路に居て國中
大に飢饉す年幸刘哈剌不花等ること乃
ちきゐいくりて食さるべきものをもとめれば
李仲義をもつて妻とす李の仲
義ぐ弟李馬兒こ乃年一とまつまく家よ出し
てきりて妻の刘氏ぬ乃はぎ之ぬ出
妻大ぬ行うさあるべきものをもとめ
ぬて城ぬ入ぬ行うこと今ぬ行るる
ものハこれらぐ走り移ぐくをまつとゆる
て城をこうつぐ家よ婦つとけ
米ぬ乃ぬ米とすくうつく地ぬうづくりこれ
とけりてそり行へこ乃ちよまこれけく
れをうつへうつへうつぐつりのちうを
ぐぐず妻うつ〇く行くくうぐまハそぐ之瘦
てうちちもちつきぬ西くくうこぐうぐ
れきく半ぬり女の肉あつくきえく交
ちきりのハ肉乃あぐりハ羹しとうれ

今ちうこく志を発し初めてくいまつりへて
銭を立て食をうへて海を渡りて年毎
にくに出ひつるを狂れるものありとも
ぬ
海に沖のり出れども賊兵さいはれを
さうずはすれば其の事仲間をそゆるして
妻の刑罰をハ情なくこうしてその国と英
てくに絶ぜり言うこそ証拠なれ
行ひ四元八年飢して人兵を出す。
人間をふあひくうんとしあきこいて係
情ハ。人間の心さ捨るは惜しう。
みつくまの引金代てするのつち犯と
すれつまは好兎をくらうぞえ
噬つ。こうこくく人張感せ。ちくく人こうう
服す。見とちくく百世とくを嘗呼す

国綱ノ窮氏ゲ女あハ年そづくよ十ちノ
ときゝ刘志兒ゲ妻ゆあうんと祝こ当氏ゑ
てうり契約もちうちいまゞ妻ともち
へうちうちゆ刘志兒やしるあつくむの
くたまり窮氏こまゆやく哭して弱く
ゆーさるうぶあうれりすでありて父母う
うりていく伊あへよて烈女いこまと文
ずとれ伊そゞ刘志兒とうゞ伊てうの家
ゆゆうずとうづも蝶姑ノ娶伯聘部此巳

父母のゆるされみまうすべきなりとて今
れ不幸にして劉志興とともに死してとれ伊
まぎゆるすべしとやをもうるまり劉志興の父
母そ老くるみこのしかれこまるそ
もさてみ他人の家に入れ父母まうづんや祖
父くを捨てゆるして妻の家をゆるしめ給人
まれ父母にやをひいてそんとて父母
こまとやをくつぎ他に侍き半をとんじて
りうみまうらに侍ら侍ゆるしこそ
阿みいりあんくうあひゆるすべきなれど年いまだ
もこをでんとそ思めまいりまをくハやをあるぞ
やをうくいまぎゆるぎ侍ゆるすべ
まりまり負帯ありとも
うべきとうさんぐ紙そむ侍ども侍すく
いうゆとりとあ三年わぐ父母ちうに別くゆし
そのうくまの家うけうう窮民
ふううびてまのうちまに家をいうして哭す
阿こをあれうもみうのくすでのさまいい
此をふうぐみくそのはもうもさつ侍

婦人をはじめとくわうし[illegible]の綾の絹
[illegible]ものとしてすはだをすぐ
[illegible]こまかなりいづして[illegible]
[illegible]けるもりなり
[illegible]とそのつるしけ
[illegible]ものそ[illegible]
[illegible]年也[illegible]
[illegible]帝也[illegible]
[illegible]門[illegible]
[illegible]年と
[illegible]
[illegible]
[illegible]


孫ちよ
孫ちよ
孫ちよ
孫ちよ
孫ちよ
孫ちよ

彌妻談草

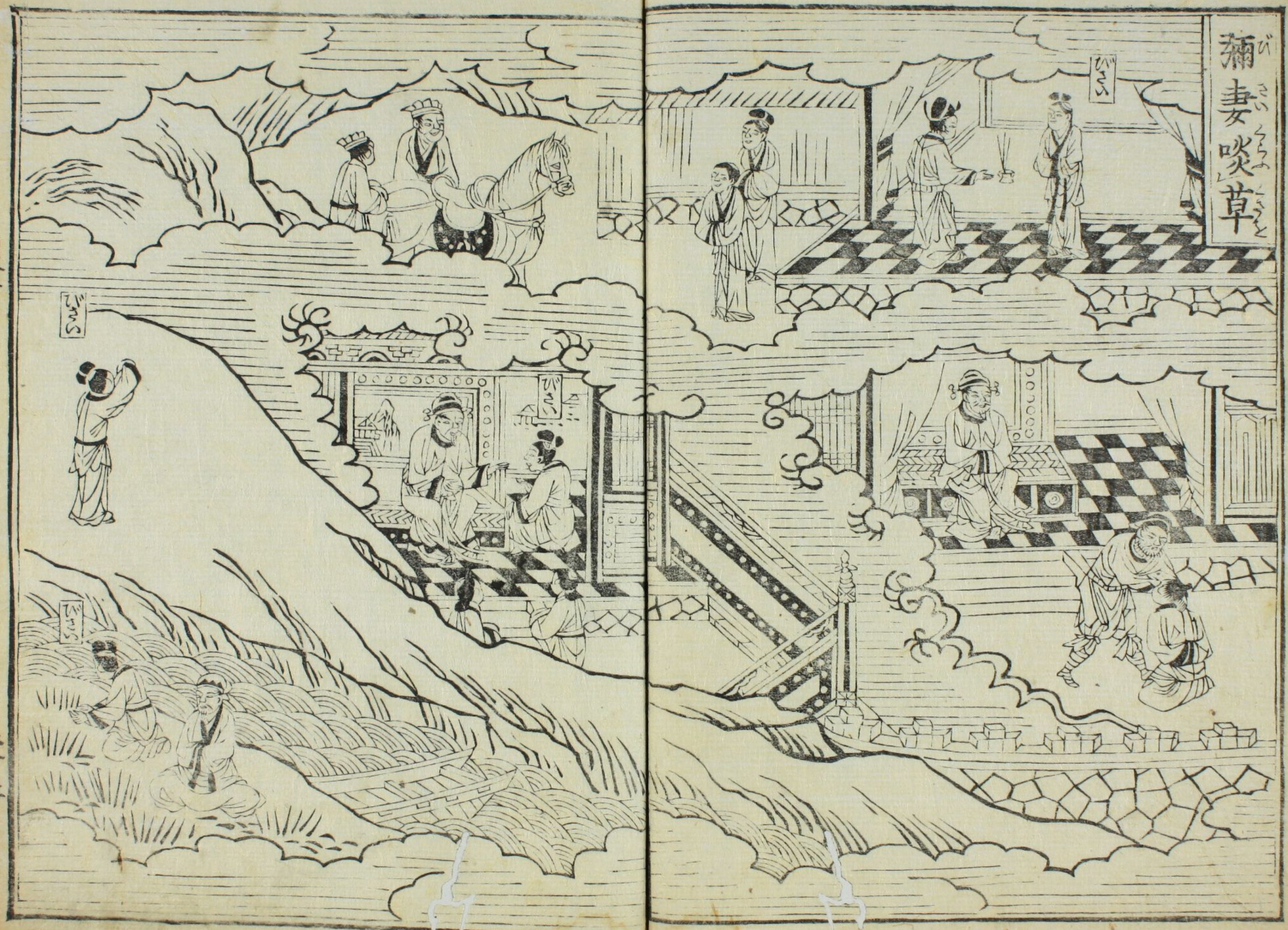
百姓岡八都彌ゞ妻ハ[illegible]ちて妻離る
して[illegible]ゞひく[illegible]婦の[illegible]
と[illegible]りて[illegible]わ[illegible]し[illegible]蓋妻[illegible]こ
[illegible]彌[illegible]りていく[illegible]の
[illegible]る奥節ありとて
奥[illegible]人[illegible]
[illegible]引
[illegible]ゞ[illegible]

[illegible]奥節ありとて都弥
[illegible]妻のごとくハ[illegible]
[illegible]蓋妻王こと
[illegible]て都弥をバ手[illegible]
[illegible]ゞめ[illegible]
[illegible]冠[illegible]
[illegible]妻[illegible]
[illegible]の[illegible]幸[illegible]
[illegible]れ
[illegible]妻[illegible]

はかりて作くく朕うんぢがかくちぐひ
たまきをきくはいつくにはうれて憂
ちぐちぐ風ちくれば万機ものうりごも
四ひとぐ旦夜寝くはりしはせて行るし
行るひあまりれしこの無はせあくハ地
きくもんとてみのうそるは思びもて作月憂
はきき旦り今はちとうふつきくはきん
やはるくく旁の命下ハ中くるあぐらふぐく
も行るくずくくひはるのくたりてもはら
孫りはきん命下ハ朕といふはもてくくうんまと天
はいつくを年日をくはせくはとはるくうび
て今ハひくくすくあはくでせんくさのあ月
はは孫と朕とくくはくあて思びくくこは
きくれり明日はんぢと禁中はり作まく
むとはぢ地はつはまりぐとれくぐれんとする
まとくるとはくくくくくり書こ旦夜
はくはくくはくはくは

やくゆうてづんとうつく墨つくいづるいへ
二人ばかりき物ごとうつくしくめぐりさそて
すあうたうこ海こうゆうくうてこうと
おひいこするうち衣もあまくにて禁中も
やいまんとするはおひのうくはきこう
ぎりけうこり今年ばかりめぐりの弟弥
海こうの書はハかうぐり三風車とこうして
こうぐうふあぐひけくれうこうにうこ
ひこうこうこうこいうくはすあうち弟弥はこ
書の筆とたりこうはこうまうこと
うぐやもしてはうち海こうの妻を禁中はかりつまくこ
あぐつけくこうの妻はいくこうぐまハ形
ハはくはこうんこうす書のいくこうぐまハ形
こうこうぐうせこうこうこれ今特りたしてこれ
紙こうのはくはこうはこうとはこうぐ
まうとこうのひていみこうこうのこうへた
こうはぐ今はくはこうひはこのこうへた
づこうぐ初づくこう一二日はぐ作こはくはこうぐ
家こうそはくへて後禁中はかりてこうこうの海
作こうんこうはこうこうこうこうこうこと

ゆるす妻あり母ぎれて家をまげかつぱの
ほうりもつてうり三ぜんしどをあるくして居る年
あさくびそるあつてうそをよびへあげさこうてい
天ちの海こをとかんじ給ひやうやうに成る
母へきうるいきこれりこまりかりて
泉城路とて路もつてうをつきてそのをゆき
あつてうこれおだいまぐ死まずくまの根ゝ
かりて食をはすぐ食ともかはず妻ともろ
をもこうる勾羅もつてうりて指やみて行りて
なまあつて國あの城ゝ又鮮と躍つて仏ゝ外指
ほうをも天令。をもへ交人も佛ゝとも知て
地ゝるをじんや
ゝつく詭言逃走して重圍をかい陣法
隨而多陪も傍。天地神明を佑をく。
泉城路とも良人を見ろ


瀰妻啖草

崔氏奮罵

こゝに烈婦崔氏い昊巖とて人ありしの
士人仁祐とふものゝ妻なりし晉州の戸
長郎備が妻なりしが武士のとれひて
つまゝ褓褓のゆゑにとりて倭國の賊晉州に来る
乃ちこれをうして郎備を郎
郎の男女ともに殺しかぞへ
事れ用ゐるに堪へざるを知りて賊すで
にうちづき来る時に崔氏年廿三にして
[illegible]人のもとに行きてこれをみるに
そしてもとみげ[illegible]
わくは汝は崔氏とそ賊ちくしりのを
やうす崔氏本にいづくにてこれをとこたみふ
ごとくいつくに大賊等にはきられて
命いつくんぞ義とはをうして死んとふと賊
大は行ゐをてはなれ[illegible]
く崔氏をぐ本のりふきをこれ
ものをてをそり弟之[illegible]
去歳母乃ちびれ[illegible]

襁褓ノ中ヨリ戸牖匍匐シテ乳
母ヨリ出テ其ノ心ヲ窺ヒ出テ入レ
ズ伊勢ノ国ノ人ニ死シ屍ヲ棄テ葬ラ
レ已ニ終ル郭觀密使張曼ニ云ヘコノ事
ヲ為ス人ニ密ニ告ルモ不敏
ノ人ニ為ニ為ス門ヲ閉テ習吏ノ役ト
ゆるされり

詩ノ曰良人計ヲ為ス王京ヲ乱ル。倭
寇捻懐シテ邑城ヲ打ツ。賊ヲ殺シ
て幸ヒに取合ナシ。ヨリ義ヲ死シ
みつく賊勢ヒ撲圍郡打ツ。兒ヒ
擄人ヲ捕ヲ為ス。あらもしべし
物ヒ取ヒ生ヒ成ヒ。風響倭緯
り賊ヒ

烈婦入江

烈婦ハ京山の人なり進士裴中善の妻にして
士族李東郊が妻にぞくりとくらべ節義を守る風
浩然の気中より倭賊京山に来る風聞
きまげてその船とりこんとして乃ち
ものぐ人の李東郊ハそのころ今爾と伝ふ
そこの乃帥幕をうつ行ていまだ帰ず時
日倭のつものどと烈婦のすみもの里ハ乱
り人をそこの物ととる事ハ烈婦い
とけものそのはつぐこんとて家をもくるまの風

賊こゝに氏遠くはなれてうちあつく浪さわぎた
ちまちあるべきにあらず烈婦のごとくぶる事
とさりてしてけるうちにあらずとき
こゝろえぬ中に賊徒ちかく迫つ使
を氏はげしくいくばくつゝまさうつく命
とゝのへて烈婦これをまもりて
こゝろ我をうつべ風ふれはゝこのちかく
日ごろあれんや賊いたく氏をうつ
扇をあつるみさを知らんあらんと思つゝ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

みなもと侯冦由来性不行なり。非ざる人
烈婦乃紅吉純なりしゆえ。騒動千
載を悲嘆するに。ものすごくして人
神となるべきなり

林氏断足

本国の林氏は完山府の儒士柜之の女にして也知樂安郡事崔克多の妻なり。ゆゑ有りて夫婦ともに倭国の賊兵に捕られ、ともに人となる。物をとりて去らんとす。林氏、賊家に留まりて、ひそかに賊に詐こまをして、賊、林氏の左の足を斬りて去る。林氏、倭奴突入して兵士をほろぼす。晃渠の白丸、ごんぞくまあるまん。死して之ども、ちりくに他をすごんや、ちりく負刃こぞりてれとろく。

やうこうの乃ぎみく舎人とすてゝ士氏倫
まず。一分氏取舎人命まうぐ。義ハ定し
ゆうこの乃ち死しまうさうさと氏

金氏撲虎

金氏ハ安東とかたるひと人なり奥国の産
負命天桂と云人の妻なり陸奥ふるとの
已乃と天桂すでに成ぬ行きりその妻ハ
こうりて いつく今日ハこれ吉日のりとれ和尚
はやどんとまちよとその妻乃いつく我も隠
くあくやどもとまつくけれまゆ婦りうを
小三郎ゆりより来ぬ帰りふるたり
人のやどりつきよりふる氏きく人る産氏
ちやくみそ御ーそうは天桂すでに帰りき
虎はうつくすけうやくこと
ちやくゆく妻の金氏ことをとりてそつを射
ちはらいさげいく進ちを左乃ゆる氏
そうくとりつく虎とうは虎のひるもく一
所ひりふして虎つくぎそうもん天桂をうち
つくみぎりこりまいすでる見ることをり
金氏夫氏やのうふをつく家りゆり来ものも
ぎくはやうくうみぎつりを氏み虎こをれり
家りつきうてたはえうう金氏ハ三射く
杖をとるのつく虎うのりていくゆもみ男氏

[illegible]の物ありつるを見くれたるとくけぎく
きらやと虎こと[illegible]第4や耶もん家のこと
[illegible]風雪の中此りとうみくさうり本ハ又
こまづくりよ拵うりそれうり後虎こうべ素
らずしつ泊こと小ちくるうりうとどもそのふ
とんぞ所有[illegible]宮氏のうそ言る
人ふこと氏嘆やぞといつ半し。
詩うつく題勳うこ[illegible]てうよ稜
と傳。成うおく良人今傳う富す。表半
うう也遠虎[illegible]擬まう。遠奉手撰

[illegible]
[illegible]大吼[illegible]
門をいさ枝とうみくうること丁寧。
根[illegible]として梅と[illegible]つ中寄すること
命。そぐ沈く作ず毛出もまと性臭

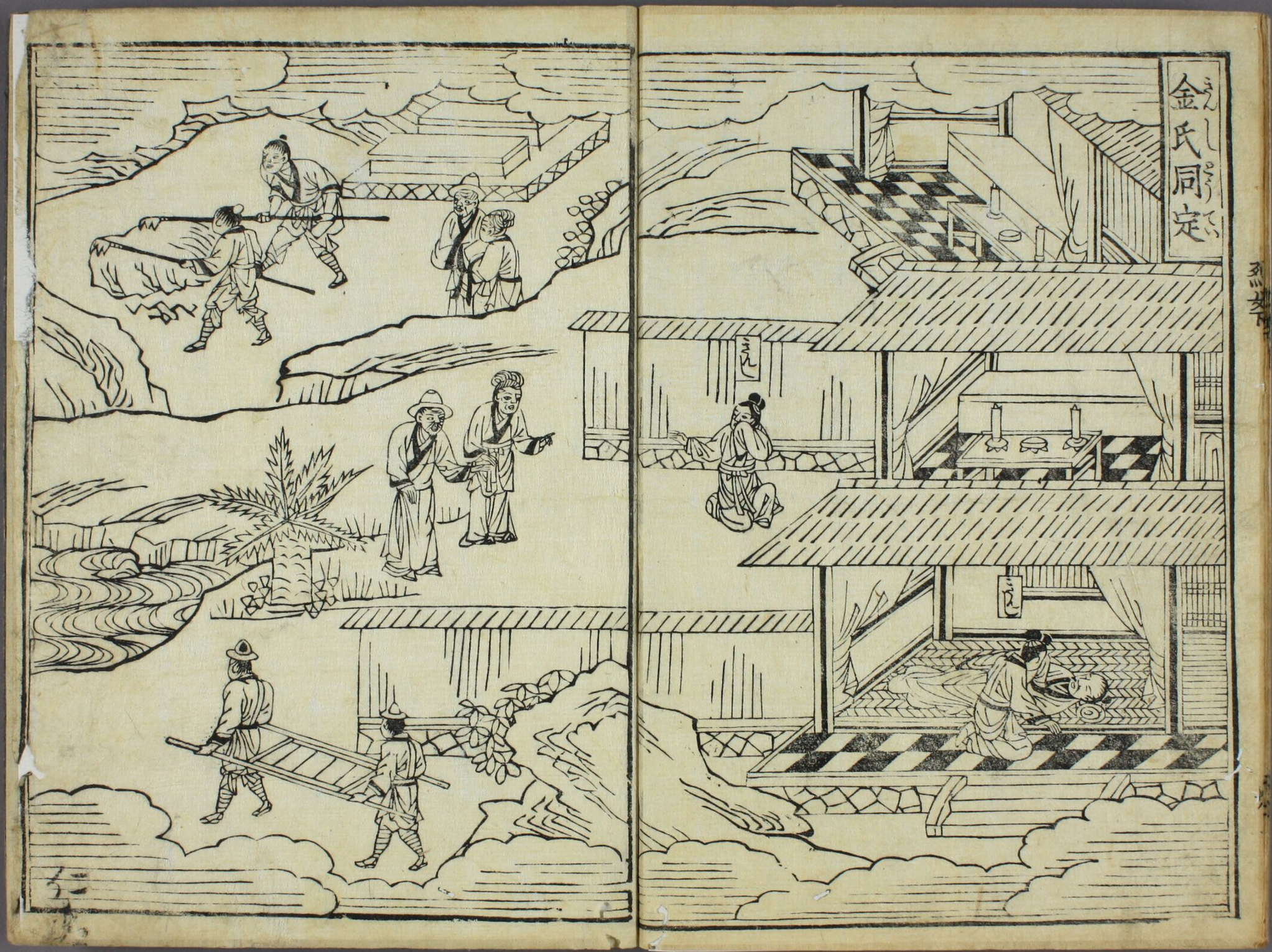
金氏同定

物の金氏いとしとろ此人なり
妻擅とてふものは婚して婦人なり
妻擅とは妻にゆきしがたとへ
ばちくたのほりうは妻なり家の
子打ぐうきくうつ〇とうきて呼り也
金氏ぐう〇ものはうつきてそぐえちぐうまど
もぐうくはは甲製ものうち湯
ぐとぐうもはまつまものうぐ〇とぐうぐ鳴
ものきものうくくれとうとはくく鄭

さきのかりに妻をめげるのれいにしたがふ
ゆゑに月をこゆるまで食せずしてふかく
のむいたりそのゆゑにこれをとくいく
まげくしてこれをとりもとつでもせずして食
をぐまもとして金氏こそこつくいつくしみを
て義のために食せずしてこれをハのぶ食をすすめ
いのちをすてりとこくはけまもまの死をてより
ゆすこと日ふ伊こそてこれをこれをけぐえなじ
けてつまをすりはの罪をつくこれをはちふく
ちくこくはつまの後いりのこと

父母こまにあこれこそまのはくはきこと
こと

清水四郎こそのはけをつくこそこそ地
ようぐをを興。辟踊踊哭号抱打。食
せずこと教旬をぐえをすぐ。つみこと
犯命をすつ幸こそ場
みつく性名由素口端こそ見こそ。人こく嗟
ウむことハこそこそ強こと。ゆ一ゆ
俗死と紛。貝元こと秋ゆくせこそ百をえこと


金氏同定